

1 経済日誌

2018年4月～2018年7月

全 国		和歌山・大阪	
4月18日	輸出 10 年ぶり高水準 財務省が発表した貿易統計速報によると、2017年度の輸出額は前年度比 10.8% 増の 79 兆 2219 億円だった。リーマンショック前の 2007 年度以来、10 年ぶりの大きさ。	4月1日	「大阪メトロ」が営業開始 大阪市営地下鉄が民営化され、業務を引き継いだ新会社「大阪市高速電気軌道」(愛称・大阪メトロ)が営業を開始した。公営地下鉄の民営化は、全国で初めて。
4月27日	有効求人倍率 1.54 倍 44 年ぶり高さ 厚生労働省が発表した 2017 年度の有効求人倍率は、1.54 倍と前年度より 0.15 ポイント上がった。1973 年度以来 44 年ぶりの高さとなった。	4月1日	「統計データ利活用センター」開所 総務省統計局と(独)統計センターが、和歌山市駅ビルに「統計データ利活用センター」を開所した。中央省庁の地方移転の一環で、統計局の一部機能が移転した。
5月16日	GDP 実質 0.6% 減 内閣府が発表した 1～3 月期の国内総生産(GDP)速報値は、実質の季節調整値で前期比 0.2% 減、年率換算で 0.6% 減となり、9 四半期ぶりのマイナスとなった。	4月12日	大阪城入館者数 3 年連続最高 大阪市は、2017 年度の大阪城天守閣の年間入館者数が前年比 7.7% 増の 275 万 4 千人と 3 年連続で過去最高を更新したと発表した。
5月17日	訪日客数 最速 1000 万人超え 日本政府観光局は、1 月～4 月の訪日客数の累計が、前年同期比 15.4% 増の 1051 万 9300 人となり、過去最速で 1000 万人を突破したと発表した。	4月27日	「大江戸温泉物語」がオープン 全国で温泉宿などを展開する大江戸温泉物語グループが、串本町の旧浦島ハーバーホテルを「大江戸温泉物語 南紀串本」としてリニューアルオープンした。
6月29日	TPP 関連法成立 米国を除く環太平洋経済連携協定(TPP)参加 11 カ国の新協定「TPP11」の関連法が、参院本会議で可決、成立した。協定は早ければ年明けにも発効する。	4月27日	和歌山県人口 93 万 8107 人 和歌山県は、4 月 1 日現在の推計人口が前年同期比 1 万 153 人(1.07%) 減の 93 万 8107 人だったと発表した。年に 1 万人以上減るのは調査開始以来初めて。
7月2日	路線価 3 年連続上昇 国税庁は、相続税や贈与税の算定基準となる 2018 年分の路線価(1 月 1 日時点)を公表した。全国平均は前年を 0.7% 上回り、3 年連続で上昇した。	6月5日	「宝塚医療大」、和歌山に新学部 「宝塚医療大」を運営する学校法人「平成医療学園」が、和歌山県に対し理学療法士らを養成する学部の和歌山市内への新設を正式に申し出た。
7月4日	国の税収 26 年ぶり高水準 財務省は、2017 年度の国の一般会計決算を発表した。税収は、前年度比 6.0% 増の 58 兆 7875 億円となり、26 年ぶりの高水準となった。	6月18日	大阪府北部で直下型地震 大阪府北部を中心に、最大震度 6 弱を観測する強い地震が発生した。人的被害のほか交通機関やライフラインを直撃し、大規模な混乱をもたらした。
7月17日	日欧 EPA 来年発効へ 日本と欧州連合は、経済連携協定(EPA)に署名した。来年 3 月末までの発効を目指し、発効すれば双方の貿易品目の 9 割超で関税が撤廃され、世界の国内総生産(GDP)の約 3 割を占める巨大な自由貿易圏が誕生する。	7月2日	大阪府内路線価 5 年連続上昇 国税庁が公表した 2018 年分の路線価(1 月 1 日時点)で、大阪府内平均は前年比 1.4% 増と 5 年連続で上昇した。府内最高路線価は、御堂筋(大阪市北区角田町)の 1 平方メートルあたり 1256 万円。
7月24日	西日本豪雨を激甚指定 政府は、西日本豪雨を含む 5 月 20 日～7 月 10 日の各地の大雨被害を激甚災害に指定することを閣議決定した。西日本豪雨では、西日本広域に人的被害のほか、産業・住宅・インフラ全般に甚大な被害が出ている。	7月25日	南紀白浜空港を民営化 来春の民営化を目指す和歌山県営南紀白浜空港について、県は空港の運営権譲渡に向けた実施契約を、コンサルティング会社「経営共創基盤」などで行う企業グループ「南紀白浜エアポート」と締結した。

2 地域開発のうごき

2018年4月～2018年7月

和歌山県内

4月11日 「御坊市新庁舎建設基本構想」を公表

御坊市は、「御坊市新庁舎建設基本構想」を公表した。2020年度の着工、2022年度の供用開始を目標に、地下1階地上5階建て延べ床面積約7000㎡規模の新庁舎を建設する。

4月15日 「すさみ串本道路」が起工

近畿自動車道紀勢線（田辺～すさみ）と連続し、東牟婁郡串本町サンゴ台から西牟婁郡すさみ町江住に至る19.2kmの自動車専用道路「すさみ串本道路」の起工式が行われた。

4月18日 和歌山市駅3施設が起工

南海電鉄和歌山市駅周辺の再開発事業で建設される各施設の起工式が行われた。市民図書館が入る公益施設棟、商業棟、ホテル棟の3棟で、2019年秋から2020年春に順次完成する。

4月23日 NTNと和歌山県・橋本市が進出協定で調印

大手ベアリングメーカーのNTNは、紀北橋本エコヒルズ「紀ノ光台」に新工場の建設を決めた。新工場は、延べ床面積約6万㎡、投資額約200億円（土地代を除く）、来年6月の操業開始を予定。

5月9日 白浜町の「第2 ITビジネスオフィス」が完成

白浜町が総務省の「ITビジネスモデル地区」の指定を受け、平草原公園に建設していた「白浜町第2 ITビジネスオフィス」が完成した。

5月22日 県内最大の風力発電所が着工

日高川町、広川町、有田川町にまたがる白馬山脈で計画されている風力発電所「中紀ウインドファーム」の工事安全祈願祭が行われた。2021年4月から風力発電機23基が稼働予定。

6月1日 「印南風力発電所」が営業運転開始

大阪ガスは、日高郡印南町内で初めてとなる「印南風力発電所」の営業運転を開始したと発表した。年間総発電量は、約5000万キロワット時で一般家庭約1万4000世帯分の電気量に相当。

6月4日 2公立認定こども園を新設

和歌山市は、幼稚園と保育所を合体させた「認定こども園」を市中心部の雄松町と北桶屋町に新設すると発表した。同市立の認定こども園設置は初めてで、2020年4月の開園を予定。

7月2日 「高野山観光情報センター」が開館

世界遺産・高野山の魅力を発信する新たな拠点「高野山観光情報センター」が総本山金剛峯寺前に完成した。同センターは、2階建て延べ床面積500㎡で寺院風の外観となっている。

7月8日 「フラワーライン」が全線開通

白浜町内の紀勢自動車道南紀白浜ICと南紀白浜空港を結ぶ県道フラワーラインが、全線開通した。県が2010年度に着工し、今回、未開通区間1キロの開通により全線開通となった。

3 地域開発のうごき

2018年4月～2018年7月

大阪府内

4月18日 「大東市新庁舎整備基本計画(素案)」を公表

大東市は、「大東市新庁舎整備基本計画(素案)」を公表した。消防跡地と周辺民有地の敷地4237㎡に延べ約1万8000㎡の新庁舎を建設する。概算工事費は約86億円を見込む。

4月24日 USJ周辺エリア最大のオフィシャルホテルを開業

武蔵野(埼玉県朝霞市)は、桜島駅前にUSJ周辺エリア最大のオフィシャルホテルを2019年秋に開業すると発表した。ホテルは、地上14階建て、客室数は760室を予定。

5月16日 「モクシー大阪新梅田」2020年に開業

マリオット・インターナショナルは、ブティックホテル「モクシー大阪新梅田」を2020年秋に開業すると発表した。福島駅から徒歩5分に位置し、14階建て288室を計画している。

6月8日 りんくう中央公園開発事業者をセティアジャパンに特定

泉佐野市は、りんくう中央公園用地約2万㎡を売却した上で国際観光とMICE施設を整備する事業者をセティア・インターナショナル・ジャパンに特定し、仮契約を締結した。

6月11日 アマゾンジャパンが茨木に新たな物流施設を開業

アマゾンジャパンは、最新のインターネット通販の物流拠点を9月から茨木市で稼働させると発表した。延べ床面積が約6万4000㎡で、商品の保管から仕分け作業などをロボットが担う。

6月14日 パレスホテルが大阪に進出

高級ホテル「パレスホテル東京」を運営するパレスホテルは、大阪市北区堂島浜に宿泊特化型の新ブランドホテルを2020年初夏に開業すると発表した。客室数は212室を予定。

7月4日 梅田に大型複合ビル建設

住友不動産は、大阪・梅田でホテルや商業施設、マンションなどで構成する56階建ての複合ビルを着工した。2022年春完成予定で、延べ床面積は10万7560㎡、高さ191m。

7月9日 夢洲に観光客向け商業施設を計画

大阪市高速電気軌道(大阪メトロ)は、大阪湾の人口島・夢洲(大阪市此花区)にIR(統合型リゾート)と連動した観光客向け商業施設を開発する中期経営計画を発表した。

7月12日 大阪駅再開発「うめきた」2期の事業者決定

都市再生機構(UR)は、JR大阪駅北側の再開発地区「うめきた」2期区域の開発事業者として、三菱地所を代表とする企業連合を選定したと発表した。

7月18日 「堺市総合防災センター建設工事基本設計概要」を発表

堺市は、美原区で計画の総合防災センター(仮称)について、基本設計の概要を発表した。2021年度完成予定で、全国初の20人乗り地震体験施設や消防職員の訓練設備を設置。

4 関西国際空港

2018年4月～2018年7月

関西国際空港

4月1日 関空到着エリアに免税店オープン

関空第1・第2ターミナルビルの国際線到着エリアに、成田空港に次いで国内2例目となる到着時免税店「ANA ARRIVAL DUTY FREE SHOP」3店舗がオープンした。

4月1日 関西3空港 一体運営を開始

関空と伊丹空港を運営する関西エアポートの子会社「関空エアポート神戸」は、神戸空港の民間運営を開始し、関西エアポートによる関西3空港の一体運営がスタートした。

4月25日 関空国際線 2000万人突破

関西エアポートが発表した2017年度の関空の運営概況によると、国際線の旅客数は前年度比14%増の2190万人となり、開港以来初めて2000万人を突破した。

5月2日 関空－清州線を新規就航

関西エアポートは、韓国のLCC・イースター航空が関空－清州線を5月3日から8月31日の間、週3便で就航すると発表した。日本と清州を結ぶ定期便はなく、同路線が国内唯一。

5月7日 ベトジェットエアが外国人国際航空運送事業の経営許可を取得

国土交通省航空局は、ベトナム最大のLCC・ベトジェットエアに外国人国際航空運送事業の経営許可を認可したと発表した。

5月31日 関空－ハノイ線を新規就航

関西エアポートは、ベトナムのLCC・ベトジェットエアが関空－ハノイ線を11月8日からデイリー便で就航すると発表した。同社の日本への就航は、本線が初めてとなる。

6月7日 関西エアポート 純利益67%増

関西エアポートが発表した2017年度の連結決算は、営業収益が前年度比15%増の2064億円、当期純利益が前年度比67%増の283億円となった。

6月15日 ビジネスジェット専用施設が開業

関西エアポートは、関空第2ターミナルにビジネスジェット機向けの専用施設「プレミアムゲート玉響」を開業した。専用の保安検査場や出入国管理施設、会議室等を備えている。

7月10日 関空－シアトル線を新規就航

アメリカのデルタ航空は、関空－シアトル線を2019年4月からデイリー便で就航すると発表した。

7月19日 関空－熊本線を新規就航

関西エアポートは、LCC・ジェットスター・ジャパンが関空－熊本線を10月27日からデイリー便で就航すると発表した。